

いきいき 学びのプラン

【生涯学習計画】市民だより／55号
(平成27年9月1日発行)
《発行》岸和田市・
岸和田市教育委員会
《編集》岸和田市教育委員会
生涯学習課
〒596-0072
岸和田市堺町1-1
(市立公民館・中央地区公民館内)
電話：072-423-9615～6
ファクシミリ：072-423-3011
メールアドレス：
syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

ひとが笑く。

公民館の定期講座で講師をしている堀野和人さん。一級建築士の資格を持ち、事務所を開くかわら、公民館や地域での活動も積極的に行っています。仕事と地域の活動にかけあっている思いを聞いてみました。



ほりの かずと
堀野 和人さん

堀野さんの主な活動

- 一級建築士事務所 スマイルズム.代表
 - 特定非営利活動法人神於山保全くらぶ会員
 - 岸ぶらがー
 - 公民館講師
 - 岸和田文化事業協会広報部会理事
 - 岸和田市都市計画審議会公募委員
- (岸和田市観光振興協会公式サイト認定ライター)

お仕事は？

住宅を中心とした建築設計の仕事で自称ハウジングプランナーです。

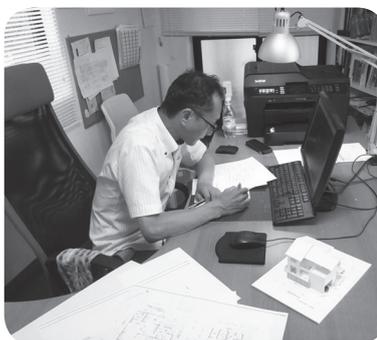
新築やリフォームの計画を納得いくよう進めるための間取りの提案やアドバイスを通して、良い住まいづくりのお手伝いをしています。また、自分の思いや経験を多くの方に伝えるために、住まいづくりに関する講座や本の執筆も進めています。

公民館に来るようになったきっかけ

サラリーマンを辞めたことですね。

それまで土日は最も忙しい曜日だったのが結構自由になりました。たまたまそのタイミングで公民館講座が目にとまり、受講したのが公民館活動のスタートです。「地元のこと、こんなに知らんねんや」と驚き、素敵な講師と講座仲間にも出会えました。それまでは地域活動に主体

的に参加したことはありませんでした。ただ私が子どもの頃、父が中央商店街（現かじやまち）で商店を営んでおり、町会やPTAなどの地域活動に積極的に参加していた様子はよく見ていました。抵抗なく公民館活動を始められたのは、そんな父の影響もあると感じています。



仕事場での様子

活動の動機、今後の目標は？

地域に対してお返しをした気持ちが一番ですね。そう思うようになったのも父の存在が大きいと思います。今でも友達から「ソフトボールを教えてもらった」「キャンプに連れて行ってもらった」などの思い出話を聞くことがあります。やはり似てくるのでしょうか。自分も何か残してあげたいと思い始めました。それもリタイアしてからではなく、現役世代の間に。

義務感でやっていることは一つもありません。楽しさがないと活動は続かないものです。地域での活動が人とのつながりを広げ、そのつながりがさらに新たな活動へと広がっていききます。

将来的には、専門的な知識や技術を伝えるだけでなく、人と人をつないでいく役割を担えるようになっていきたいと思っています。

これから地域活動をはじめめる人へ

初めて行くところは誰でも緊張します。実は私もあまり得意ではありませんが、まずは続けてみることでですね。その先に新たな世界が広がることを信じて一笑。

友達やご家族で。または、私のように子どもをダシにつかってじっくりと浸透していくのもよし。是非、勇気と好奇心をたずさえて、その一歩を踏み出してください。



お子さんと参加している神於山保全くらぶの活動で竹割りを指導

市立公民館「住まいづくり講座」



話を伺いしている間も終始飄々とした雰囲気、堀野さんでした。この軽やかさが色々な活動を続けていく秘訣かもしれません。

★ 中年の星

今年の7月23日、ソユーズ宇宙船が油井亀美也さん(ISS)に向けて打ち上げられた。ニュース番組でそれを知った私には「中年の星」という言葉がとても心に残った。中年の領域、概ね40歳まで達しても活躍を続ける人のことをそう言うらしい。

油井さんは歴代最年長の39歳で宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙飛行士候補者に選ばれた。そして、45歳で国際宇宙ステーションへ。まさしく中年の星である。宇宙飛行士という仕事は精神的、特に肉体的にキツイ仕事のように思う。映像を見ているだけでも落ち着かない無重力。その中で5ヶ月間は想像しがたい。長い間訓練をし、たくさんのテストをパスした油井さんを私が心配する必要はないが、45歳の体にとだけだけの負担か。

小学校の卒業文集に「勉強して20年後には火星に行っている」と夢を綴った油井さん。防衛大学校を卒業し、パイロットとして航空自衛隊に所属していたが、ずっと宇宙飛行士への夢、憧れを持ち続けていたのだという。なんと500倍の難関を突破して宇宙飛行士候補者になったのだ。中年の星が輝いている。

